

# 南会津のうりんニュース

第36号

平成13年5月10日発行  
福島県南会津農林事務所



## 今月のトピック

### 「うまくて!ごきげん!」～会津地鶏料理レシピ集、会津地鶏飼育ハウス完成～

去る3月22日、只見町で開催された会津地鶏定着化推進協議会において、会津地鶏飼育ハウス（名称：会津地鶏ごきげんハウス）のお披露目が行われました。

この飼育ハウスは、会津地鶏のPR活動を幅広い層に対して行うことを目的に、地方振興局企画調整事業費事業を活用して試作したもので、2羽と5羽の2つのタイプが完成しました。

2つのタイプともに木製で、居住スペースもばっちり与会津地鶏も「ごきげん」に暮らせること間違いなしです。

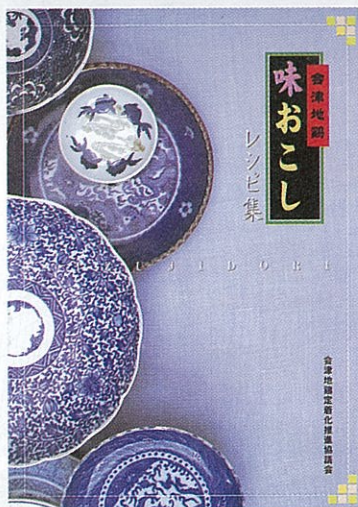
この他のPR関連のものとしては、同じ地方振興局企画調整事業費事業を活用して昨年開催した「会津地鶏味おこしオリンピック2000」の料理レシピ集も完成しました。（名称：会津地鶏味おこしレシピ集）

このレシピ集には、味おこしオリンピックの料理メニューに加え、平成11年度に南会津地方で開催した「会津地鶏を食材とした”奥会津味おこしフォーラム”IN只見」の料理メニューも併せて掲載されていて、全部で81点の料理を紹介しています。

この料理レシピ集と飼育ハウスが、会津地鶏の生産振興の起爆剤になることを期待するとともに、会津地鶏を軸にした南会津地方の活性化に取り組んでいきたいと考えています。

（農業振興部）

◀南会津の代表的料理になることが期待されます



立派な小屋に住めてごきげんな会津地鶏!

### 山火事に注意 全国統一標語「育てたい 山へのマナー 火の始末」

4月24日から25日にかけて、南会津郡内において山火事の予防を呼びかける山火事予防パレードが実施されました。

パレードは、消防本部・会津森林管理署及び南会津支署・各町村・各森林組合・NTT・東北電力(株)・電源開発(株)・南会津農林事務所等で構成する南会津地区山火事防止対策協議会の主催で実施され、地域住民や子供たちにチラシや風船等を配布して、山火事の予防を呼びかけました。



山火事には注意してね

南会津では、ここ数年、大きな山火事は発生していませんが、毎年、数件小さな山火事が発生しており、注意が必要となっています。特に、4月～5月下旬の間は、空気が乾燥しますので、「たばこの投げ捨て」は絶対しないようにお願いします。また、たき火の処理は完全に消火するまでその場を離れないようお願いいたします。

南会津郡は、山菜採りや釣りなどを目的とした県内外からの入山者が多いことから、パレードのほか、横断幕の設置や、パトロールを行いながら入山者へのチラシの配布等を行い、山火事の予防に努めておりますので、皆様のご協力をお願いします。

なお、皆様の大切な森林を守るため、まさかの備え「森林国営保険」へ加入しましょう。

（森林林業部）

## 「移動農林事務所」を開設しました

去る4月23日、管内各町村を訪ねる「移動農林事務所」が伊南村を皮切りにスタートしました。

「移動農林事務所」は、本年度よりスタートした「豊かな自然を生かした園芸産地とやすらぎの里づくり」をスローガンに掲げた「うつくしま農業・農村振興プラン21 南会津地方計画」を達成するため、各町村と南会津農林事務所との間で農林行政の課題や農林業の振興方策等について町村単位に幅広く自由な意見交換を行うことを目的に開設したものです。

この「移動農林事務所」は本年度からの試みでしたが、早速、各町村が直面している緊急的な課題などについての要望、意見等が出され、さらに、県として対応可能な事業を紹介するなど有意義な意見交換がなされました。

近年、農林行政の課題はさまざまな要因が絡んでいることから、一筋縄では解決しない問題ばかりですが、「移動農林事務所」を契機に、より密接に町村と連携した事業展開を図ることで、これらの難局に対処していきたいと考えています。

本年度の「移動農林事務所」は、5月9日の只見町で終了しましたが、町村からは「是非継続して欲しい」との要望も出ており、来年度以降も継続して行う予定です。

(地域農林企画室)



町村と連携して農林業の振興を考えます

## ひとくち普及情報

### 南郷トマト栽培に8名の新規栽培者

南会津郡の西部地域は、夏秋トマトの産地として全国でも有名です。平成12年度実績で販売高約7億3千万と県内一の産地ですが、ここ数年は栽培農家の高齢化により、栽培戸数の減少や一戸あたりの面積も減少傾向にありました。そのような状況の中、8名の方が新たに南郷トマト栽培に仲間入りしました。

そこで、南会津農林事務所農業普及部、JA会津みなみ、南郷トマト生産組合が連携し、新規にトマトを栽培する方だけを対象とした栽培技術講習会を始めました。内容は、3月から6月までに5回実施し、トマトの生理生態、病虫害対策、育苗法等について講習を行っています。

(農業普及部)



南郷トマトの苗作りが始まりました



必見！水と、映像と音楽の祭典

### 「うつくしまナイトファンタジア」

いよいよ開催が間近にせまってきたうつくしま未来博ですが、夜のメインイベント「うつくしまナイトファンタジア」は、水・光・映像・音楽がおりなすスペクタクルファンタジーとして見逃せないイベントのひとつです。福島豊かな自然を背景に、愛であふれる“美しい心”をテーマとした物語が展開します。巨大なウォータースクリーンなどに映し出される映像、大型噴水、レーザー光線、霧そして音楽……。最先端の技術を駆使した、幻想的なストーリーが大きな感動を与えます。



●実施予定：7月20日～9月30日（8:00pm～8:30pm）

●総合プロデュース：久石 譲（もののけ姫、となりのトトロ等の映画音楽制作として有名）

## うつくしま農業・農村振興プラン21 南会津地方計画

このたび、21世紀初頭における県政運営の基本指針であります「福島県新長期総合計画うつくしま21」の農業・農村分野の計画として、本県の農業・農村の振興を図る基本的な指針となる「うつくしま農業・農村振興プラン21」が策定されました。この振興プランの中には、「豊かな自然を生かした園芸産地とやすらぎの里づくり」というキャッチフレーズで、「南会津地方計画」が位置づけられています。南会津地方計画は、平成11年度から2箇年に渡り、農業者や消費者代表・各関係機関・団体と共同で策定したもので、10年後の平成22年度を目標年次として設定しました。

「うつくしま農業・農村振興プラン21南会津地方計画」は、南会津地方における将来の農業を描き出し、今後10年間の取り組みの方向を示しており、その主な項目は以下の7項目です。

### ①担い手の育成確保

地域の農業を担う認定農業者や新規就農者、農業生産法人等担い手の育成・確保を図ります。

### ②園芸産地の育成

トマト、アスパラガス、にら、さやいんげん等の野菜やりんどう、宿根かすみそう等の花きの品質向上、作期拡大、省力化を推進し、生産者の経営安定と産地強化による園芸産地の育成を図ります。

### ③グリーン・ツーリズムの推進

南会津の優れた景観・自然環境や森林資源を守りながら郷土料理、伝統文化等を有効に活用したグリーン・ツーリズムを推進します。

### ④地域特産物の生産拡大

赤かぶ、会津地鶏等、南会津の特色ある地域特産物の生産拡大を推進し、観光と結合させて販路の拡大を図ります。

### ⑤生産基盤の整備

生産コストの低減と、生産性の向上による担い手の育成を図るため、農地の大区画化と汎用化を目指すほ場整備や園芸作物の施設化など生産基盤の整備を進めます。

### ⑥中山間地域の振興と生活環境の整備

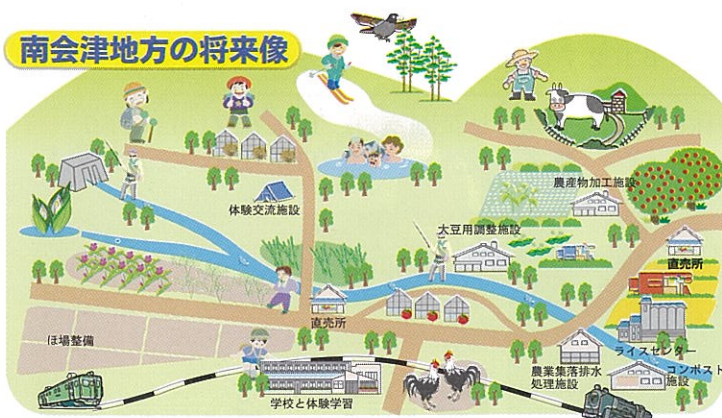
集落道や農業集落排水処理施設等の整備を進め、農村の生活環境の向上を図るとともに、農地や土地改良施設の適切な管理による多面的機能の維持向上を図るなど、中山間地域の振興を促進します。

### ⑦遊休農地の利用促進と環境にやさしい農業の推進

尾瀬などの景勝地を有し、河川の源流地域であることから、美しい景観の形成と環境の保全を図るため、遊休農地の有効活用や環境にやさしい農業の推進を図ります。

また、先月号で紹介しましたが、「うつくしま農業・農村振興プラン21南会津地方計画」を広く知っていただくため、パンフレットを作成しました。このパンフレットは、農家各戸に配布するとともに、農事組合長会議、農業推進員会議等において説明しています。集落での集まりの際には、このパンフレットを持ち寄り、集落みんなで力を合わせ知恵を出し合っ、転作問題も含め、基盤整備した土地をどう活用するのか議論をし、元気の出るむらづくりのきっかけに利用して頂ければ幸いです。

(地域農林企画室)



南会津地方・集落の10年後のイメージ

## 南会津雑感

清冽な空気、しんとした山々、つい挨拶をしてしまうおじいさん。田島に来て1ヶ月、休みは家族の所に帰っていたので実質1ヶ月に満たないが、車が飛び交う農免道路を横切る以外、この職場へ向かう道が好きだ。まだ遠くの町という意識がどこかにあって、今自分が住んでいる不思議さと、新しいものに出くわす密かな好奇心が同居している。

先日、南会津管内を回ってみる機会があったが、山々の峻険さ、山一つ隔てての気象の違い、道路や建物の雪に対する備えからの冬の厳しさがうかがえるなど、この地の自然に圧倒されてしまう。が、また、田畑ではトラクターが動き道路では工事が行われ、しっかりと人々が活動している。

南会津の産業は農林業であるが、トマトやリンゴの産地でもあるので、農業生産額は伸びないまでも現状維持で来ているものと思っていたが、とんでもない認識不足であった。今の農業・農村の悩みそのものを抱えているのではないか。ただ、若い担い手が都市から入って来ているとの話が一筋の光明であるが。

南会津での豊かな自然、その中で営まれる農業を生かすのはグリーン・ツーリズムとして推進されているがなるほど納得がいく。しかしどうしたらうまくいくのか。都市民はどのような方法で、基準でこの地を選んでやって来るのか。また他地域との受入れを巡る競争もでてくるのではと心配もする。

こうなると南会津のウリは何だろうか、自然と人情ではどこでも同じ。旅行ガイドブックを見ると、それ以前に南会津は「会津」の一部、「奥会津」で記述され、地域も本によって違っている。これでは売るべきイメージも定まらない。情報発信しても訴求力が弱いのではないだろうか。また町村単位では施設の紹介程度はできてイメージまでは作れない。

この際、例えば「会津高原」（グリーン・ツーリズム編・観光編）ガイドブックなるものを大手出版社と共同で企画し、「信州」、「北海道」といったガイドブックと同様に出版してもらい、書店に並べることができたらどうだろうか。こうなると本作りイコール地域づくりになり、エライことになるとは思うが、その過程で様々な課題も浮かび、解決できるのではないだろうか。幻滅させない上質で地域内での均質なサービス、援農需給調整のシステムなど広域で解決すべきものがある。

「会津高原」のイメージを明瞭にして訪問者に納得してもらい、地域の活性化ができれば言うことなしである。

などと考えたりしている。

次長兼企画部長 斎藤 敏道



### ～研修会・講習会等お知らせ～

内 容	月 日	場 所
①農産加工素材活用研修：「米粉作る味、今、昔」	5月30日（水）	農業短期大学校
②農業機械研修：「トラクタ基本運転」	6月11日（月） ～14日（木）	農業短期大学校
③農産加工産品開発研修：「地域特産品開発、 次の一步を踏み出すために」	6月13日（水）	矢吹町文化センター
④農業機械研修：「農業施設における作業環境の改善」	6月20日（水）	農業短期大学校
⑤農業機械研修：「自分で作るアイデア機械」	6月27日（水）	農業短期大学校

※お申込み・お問合せ先：南会津農林事務所 地域農林企画室 TEL 0241-62-5866  
農業普及部 TEL 0241-62-5262

あて先 〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

E-mail m-nourin@akina.ne.jp

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/>

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

タイトル横の写真

フラワーロード（伊南村小沼尻）

黄色い水仙が運転者を和ませています

問い合わせ



古紙配合率50%再生紙を使用しています



この広報紙は古紙配合率50%再生紙とSOY（大豆油）インキを使用しています。